

## 令和7年度 施設の自己評価について

### ～保育者の施設評価～

- ・日々の製作に追われ子どもの姿としっかり向き合えているか疑問。自己肯定感を上げる言葉掛け。
- ・保護者支援に対する考え方の難しさ。子育ての大変さを受け止め、保護者の状況も踏まえて伝えていきたい。
- ・子どもの心に寄り添う事で安心感を与える。遊び喜び共感する事で信頼関係が築き笑顔も見れた。
- ・支援が必要な子に対する保育の難しさ。様々な事に対応しきれず保育にも影響した。
- ・年齢にあった玩具や遊びが提供出来たかと思うと疑問。又、担当以外の子をあまり理解出来ていないので、食事の方法など改善があってもいいのではないかと思う。
- ・気になる子への対応と他の子達への対応でジレンマ。もう少しバランス良く適切に出来ればと反省。他の保育者や子ども達の成長に助けられた。
- ・毎回、自己評価の値が変わっていないと感じる。保護者対応の難しさ。他の保育者の助けに感謝。
- ・色々な事をやるのが楽しかった。玩具の数や種類についてはクラス担任と話し合い改善出来るのではないかと感じる。
- ・保育園が子どもや保護者にとって安心して過ごせる場所であるよう反省、改善していきたい。
- ・子どもとの接し方に試行錯誤。支援の仕方に悩む事も多かった。毎日が必死な1年だったと思う。
- ・発達支援の大切さや保育の丁寧さを学んだ。乳児クラスは担当制を経験し、信頼関係が出来ている中でサポートの仕方も手探りだった。
- ・クラス内で状況を共有する事で負担が軽くなった。保護者の受け止め方は様々なのでその中で一人一人にあった対応を心掛けたい。
- ・スキンシップを多く取り愛着関係を築き、ゆったりとした環境で安心して過ごせるよう心掛けた。
- ・支援が必要な子に対し、他の保育者からのアドバイス（支援や声掛け）が聞ける機会があったらもっと子どもの為になるのではないか。
- ・失敗の都度、反省し見直しを行う。保護者は育児の不安を持っている。話を聞いたりアドバイスを通して、良い表情が見られると嬉しかった。
- ・どこまで支援するのが最善なのか見極めの難しさ。相談をしながら保育していかなければと思う。
- ・発達について保護者と話す事に対し自信が持てない部分と不安な面がある。普段から保健師や専門機関との交流の場があり相談できればと感じる。
- ・初めてのクラスで不安な思いがあった。その為、子ども達もわからなくて無理はないと感じた。分からなくて困っている時は丁寧に教えていく大切さを改めて感じた。
- ・子ども達に合った保育はもちろん、他の保育者や保護者とのコミュニケーションを大切にしていきたい。

### ～栄養士の施設評価～

- ・「残さず食べる」より「食べれる量を取り分けて食べる」方向に向かうべきではないか。“食”は人間にとて幸せなものでなくてはならない。給食が楽しい思い出になってほしいと願っています。
- ・食材の大きさは細かく切ればいいのではなく子どもの成長に合わせて保育者の意見も聞きながら進めていきたいと思う。慣れている作業も丁寧に行うよう気を付けたい。

以上、保育士や栄養士からの施設の評価。これらの意見・評価を元に改善や向上を目指していきたい。